

ミネラルを多く含む有機質肥料であり、ミネラル分の多い肥料と微量元素が含まれている肥料の基礎になるものである。これらを利用することは持続可能な農業、地域循環型農業を実現するために最も適するものである。

上の二つの地域の取り組みは、合理的な輪作体系をとり、低農薬で、かつ安定した生産をすることに成功したので、都会に出ていた若者が戻ってきて農業に従事するようになった例である。

生物活性水製造施設の建設と生物活性水（液肥）散布のための合理的な仕組みの確立が切望される。同時にミネラル野菜の基準に適合する野菜が容易に実現できるような栽培技術を確立する必要がある。各農家が多種類のミネラル野菜の生産ができるようになることが望ましいことから技術交流のシステムをつくる必要がある。これまでの多くの事例から考えると生物活性水（液肥）の利用法を検討する農家グループを核として活動を始めるのが良いように思われる。